

○人・農地プランの話合いを牽引！参加者の4割が女性(長野県松川町農業委員会)

1. 農業委員会の概要

- 農業委員:11名(うち女性3名)
- 農地利用最適化推進委員:5名(うち女性0名)

2. 取り組みのきっかけ

- 13年に町全体で1プランが策定されていたが、実情を充分反映した内容ではなかったため、18年に同農業委員会が町内でモデル地区を設定成功事例を作ろうとしたため。

3. 具体的な取り組みの内容

- モデル地区を設定する際に、女性農業委員が担当地区での実施に名乗りをあげ、関係機関と連携し、同委員が配布・回収した全戸アンケートの結果を地図に落とし、話合いが行われた。
- 話合いは参加者の4割が女性となるなど幅広い住民が参加する話合いとなり、結果として、中心経営体への農地の移行方針が人・農地プランに定められた他、住民22人が参加して共同作業を行う任意団体の「楽しみまし農」が誕生した。
- この女性農業委員を中心とする「楽しみまし農」は、遊休農地を活用して野菜を作って学校給食に提供したり、収穫祭をしたりするなど精力的に活動している他、農地の貸付の相談も受けており、地権者から楽しみまし農を通じて担い手に集積した事例もある。

